

# 村田だより 1月号

村田株式会社  
Tel. 0835-22-3205



皆様、明けましておめでとうございます。今年も村田だよりをよろしくお願い申し上げます。2019年最初の村田だよりは、社長の年頭の挨拶と年男の小山の挨拶をぜひご紹介いたします。

## 社長 年頭挨拶



みなさん明けましておめでとうございます。5日間のお休みをこのように過ごしたか?今年も、今日をきめ残すという2020日になりました。後悔しないように時間を大事に使います。

わが、今年4月に新しい元号が発表され、5月からは、新元号による時代がスタートします。春には新しい始まりの雰囲気になることが想定されますね。そんな19シンの2019年は、是非自分自身をインベションしてみましょ。

インベションは、わき目も触れずに猪突猛進で、目標に向かって行く本能的な動物といえます。その意味は目標に向かって進む点では、良いと思いますが、人間の世界では、それだけでは良いとは思えません。やはり自分ひとりで限界があります。問題が生じた場合、周りの人の意見や助言を参考に



ンコミュニケーションを大切に、事故・怪我の無い会社の戦力的インシメント、皆様に向けて欲しいです。

毎年の年頭の挨拶でも述べています「自分の業務」だけに固執せず、他の人の業務に関心をもち「仕事の幅を広げよう」と取り組むことです。

## 小山 年男挨拶



あけましておめでとうございます。年男として今年頭の挨拶をさせて頂きます。

2019年今年の12支はどの12支ですが、干支はどの12支の12支の組み合わせは60年に1度しかありません。私にとって遠慮の年でもありません。この12支は「ロ」と「書」の「亥」と「子」の漢字に木へんをつける核。今年には核として大いなる決意を示さなければならぬ年になるのかなと思っております。60年前の私が生まれた年に今の天皇がご成婚され、今年はその天皇が譲位され、新たな元号の時代が誕生するそんな節目の年でもあります。



今は社長や皆さんの計りで家内と母の介護、家のことをしながら在宅勤務をこなして頂いております。この感謝を忘れず、これからも感謝の気持ちを忘れず、社業を通じて社会の発展に貢献し、ボランティア活動を通じて地域貢献をなく、少しでも多くの人々の為に努めて参りたいと考えております。

2018年は変化の年と変わっていました。今年には新時代へ挑戦する年となる言われています。このように猪突猛進で

大事、危険を察知する力を私自身も磨きながら、目標や目的をしっかりと定め与えられた役割をしっかりと勤勉努力し地道に歩んでいきたいと思います。



また、無理せず健康管理をしっかり行いながら、色々な局面で挑戦を忘れず取り組んでいきたいと思っております。

最後に人々の心に思いを馳せ、社業の発展はもちろんだ、社長をはじめ、皆さんの今年一年のご健勝と活躍をお祈りし、幸多き一年となりますよう祈念して私の挨拶とさせていただきます。あけましておめでとうございます。



—スタイリッシュDAY 2019年テーマ1月~6月—

- 1月 1年の始まり。今年の自分色を入れてピシッときめよう
- 2月 節分豆まき! 悪い鬼をやっつけよう! 赤鬼?青鬼?
- 3月 新しい出会いの予感がある季節! 春色で自分を表現しよう
- 4月 防府がピンクになる幸せますウィーク!
- 5月 新緑! 草木や森林をイメージしよう!
- 6月 梅雨! 爽やかな風をイメージしよう!

※7月~12月は次号で! お楽しみに♪

テーマ: 1年の始まり。

今年の自分色を入れてピシッときめよう

## 1月スタイリッシュDAY

ガス課 故中川洋介が1月5日満38歳を以って、急逝いたしました。入社から14年間、ガス課の中心人物として活躍し、明るい人柄から会社員のムードメーカーとして、私たちにあって、なくてはならない存在でした。あまりに突然のことで、社長はじめ私たちが未だ深い悲しみの中におりますが、中川の分も精一杯頑張つていこう所存です。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

生前に親交のあった方々より、いただいた文章をご紹介させていただきます。

歴任 厚田ファイブ 山本 和寛様より

僕は明日も生きてゐるだろうか…。

30代後半の知人が亡くなったこの電話が…。

朝は元気があったらしい。散歩に出かけた途中に亡くなったが…。

(事故はかばはなごひのこと)

こちらの親父もそんな感じに朝元気に仕事にでかけ職場で急死した。親父は心筋梗塞だったようですが…。

一緒にボウリングに行った事もあ



り、一緒に飲んだ事もあり、仕事先でもちよくちよく出会う事もあり、よく話しかけてくれたりもした。そんなあの人がもつけない。

親父の時と同じで突然すぎてなんの実感もない。

明日明後日の事を当たり前のように予定立てたりするけど生きてる保障はどこにもないわけで…。それが現実なわけでそれに気づくと生きてる一秒一秒悔いなく満喫しないといけないな〜と思いました。

世の中は残酷で亡くなった事が確定すると通夜・葬儀が自動的に数日後に突きつけられる。突然死となるとなおさら残された人が現実が呑み込めないままあれこれやることだらけで悲しい間もなく落ち着くころには肉体もなくなりのいなくなった違和感だけが残る。

もうあの人の声も聴けない笑顔ももう見れない。まじく悲しくても生き返るわけでもないし残された側はその悲しい時間経過による鈍感力がある程度ほかしてへれるのを待ちながらも頑張つていこうしかないんです…。

事故のその瞬間怖く思ってたがなかつたと思つたこと死ぬ



のが怖いと思つほどの時間もなかつたと思いたい。

たぶん本人も亡くなったことに気づいてないかもしれない。



しかし苦すぎる…。こくやあってあの人の事を思い出しながらひとつの記事を書く事くらいしかできませんがいろいろ楽しい思い出がとぎやぎあります。

あなたの事は忘れません。

防府総合支援学校 重村 怜太君より

◎職場体験でお世話になった中川さんへ何か出来ないだろうか…と、重村君からお手紙が届きました。

村田株式会社でお世話になった中川さんが亡くなったと報告を聞いて何か自分に出来ることはないかと手紙を書くことにしました。中川さんは工場での作業を指導させて頂きました。最初ポンベを動かすのも思ったよう動かせず中川さんにコツなどを教えて頂きました。ポンベの取り付けをする時に昨日の速くなったねなどの言葉を頂きました。実習生にも関わらず作業を任せて頂きいろんな体験をさせてくれました。作業中も優しい声・返事を褒めて頂きました。風休



憩の時にも中川さんは親切に接してくれて働く意味などを教えて頂きました。将来自分がしたい仕事があるのだから自分を磨く必要が後悔はないから自分に向いているか向いていないか決めたいと言われました。中川さんは大のめんどうを見つけておの休憩時間も大と遊んだり、散歩させたのりつとして楽しんでました。職場の方々にも優しく、責任感が強く心にも余裕があつて僕も中川さんみたくになりたいと憧れています。今までの職場体験の中でも中川さんが本当に一番尊敬できる人でした。

(原文のまま)

編集後記(中川を偲んで)

は…よく動物豆知識の情報交換をしていました。へ〜と思われてる事が多くついても知識豊富で明るく、ムードメーカー、面白い先輩でした。あしがいついそぎました。ふ…頼れる先輩でした。入社以来ずっとお世話になっていました。感謝で胸がぽかぽかです。

…色々と話を聞いてくれてる先輩でした。彼の方も精一杯頑張ります。

TEL 0909-524-7020

編集委員 橋本・藤井・森原

